Lions Clubs International FOUNDATION

LCIF NEWSLETTER
VOL.2

LCIF 2023-2024
三口 巌
336-C 地区ガバナー

“We Serve”の理念で寄付への理解を

はじめに、このたびの能登半島地震によりお亡くなりになった方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

本年度より始まったミッション 1.5 は、世界の全会員 136 万人を 2027 年までに 150 万人に増強する国際協会の取り組みです。他方で「奉仕を届ける人口」を 5 億人から 10 億人に倍増する計画でもあることは、あまり浸透していません。すべてのクラブが地域社会を強化し、元気にし、誰にとっても居心地の良い場所にする。そのためには当然資金が必要です。今年度の LCIF（ライオンズクラブ国際財団）の寄付目標額であるキャッシュ 5,250 万ドル、誓約を含めた 7,000 万ドルを踏まえた、336-C 地区の今年度の目標額は 26 万ドルです。

私のガバナー公式訪問では「絆 100 ドルキャンペーン」と名付けて、地区内全クラブに協力を呼びかけました。取り組みにあたっては、LCIF アラート委員長に LCIF 副コーディネーターを、リジョンチェアパーソンには LCIF 委員を、ゾーンチェアパーソンにはその推進役を兼務し、ゾーン内の会員数の割合に応じて達成進捗率を毎月チェックしながら傘下クラブに協力を呼びかけていただいています。併せて、諮問委員会の命題を「会員増強」と「LCIF 寄付」に定め、ワークショップ形式の議論を推進しています。

地区では、「LCIF 寄付と言えば 20 ドル」の概念が未だ大勢ですが、公式訪問、例会訪問、キャビネット訪問時に「せめて最低 50 ドル、最終的には 100 ドルの継続的な寄付文化を作っていきましょう」とお願いしています。「目標額設定はライオンズとして品位がない」とのご指摘もありますが、必要性・重要性の丁寧な説明に賛同され、50 ドルに増額するクラブも増えています。何故か。会員の皆様には“We Serve”の理念があるからです。有難いことです。会員一人一人の認識と覚悟の底上げには多少時間がかかっても、地道に取り組むより他ありません。

12 月には「LCIF プレゼン 100 ドルでできること」の動画を作成し、各クラブに配信しました。これも、LCIF100 ドル寄付の力を理解していただくためです。

MJF（メルビン・ジョーンズ・フェロー）1,000 ドル寄付については、本年度より初めての取り組みとして、ガバナー感謝状を贈呈して敬意を表しています。100 ドルからいきなり MJF1,000 ドルというのはハードルが高いため、「段階的な 100 ドル単位の寄付もあり」と発信する必要も感じています。

ガバナーは毎年交代しますが、地区の方針と活動は積み重ねていくべきものです。実効性のある新しいマネージメントシステムを構築し他地区の成功例を取り入れ、継続的かつ安定した寄付を実現できれば幸甚です。

2023 年 8 月 31 日 3R2Z ガバナー公式訪問（上）と 2023 年 9 月 8 日 3R3Z ガバナー公式訪問（下）の際の様子。

LCIF 副エリアリーダーより一言
MD336/337 橋本　充好

LCIF の寄付金の目標数値が昨年度は 8 複合の中で最下位に甘んじました。今期 336 準地区のガバナーは結束がよく、昨年のことをバネにしながら当初より意気込みがありますので期待しています。準地区の最高司令官として悔いなく目標数値に邁進しています。私からは「やってやってやりまくれ」という言葉を贈ります。